

学校コード F126310107608

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

佛教大学 教育学部 幼児教育学科 (通信教育課程)

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人佛教教育学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

佛教大学 学長室企画課

職名・氏名

カチョウ アサダ ダイスケ
課長 浅田 大介

電話番号

075-491-2141 (代表)

(夜間)

075-493-9012 (直通)

e-mail

kikaku@bukkyo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

教育学部

＜幼児教育学科（通信教育課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人佛教教育学園

(2) 大 学 名 佛教大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒603-8301
京都府京都市北区紫野北花ノ坊町96

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	タナカ ノリヒコ 田中 典彦 (令和元年12月)		
学 長	イトウ マサヒロ 伊藤 真宏 (令和3年4月)		
学 部 長	ヤマグチ コウジ 山口 孝治 (平成31年4月)		
学科長等	サトウ カズノリ 佐藤 和順 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 幼児教育学科 (通信教育課程) 学士（教育学）	教育学・保育 学関係	4 年	50 人	2年次 3年次 50 100 人	550 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員									人 50 (-) [-]	人	0.22 倍	倍	
志願者数									11 (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数									11 (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数									11 (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数									11 (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A									0.22				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次									11 [0]	— [0]	
2 年次											
3 年次											
4 年次											
計									11 [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	11 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 幼児教育学科（通信教育課程）>

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置					業 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 育	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
基礎教育科目		自立学習入門	1通	2									兼1	
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0		兼1	
テキスト	総合	哲学入門	1通	4									兼1	
		文学入門	1通	4									兼1	
		社会学入門	1通	4									兼1	
		社会福祉学入門	1通	4									兼1	
		政治学入門	1通	4									兼1	
		経済学入門	1通	4									兼1	
		教育学入門	1通	4									兼1	
		心理学入門	1通	4									兼1	
		日本国憲法	1通	2									兼1	
		情報処理入門	1通	2									兼1	
		スポーツ論入門	1通	2									兼1	
		外国語	英語コミュニケーション	1通	2								兼1	
	共通教育科目	スクーリング・メディア	法然の生涯と思想	1通	2									兼1
			ブッダの教え	1通	2									兼1
文学と人生			1通	2									兼1	
生涯学習			1通	2									兼1	
現代社会と法律			1通	2									兼1	
くらしとマスコミ			1通	2									兼1	
東アジアの歴史と文化			1通	2									兼1	
世界の教育			1通	2									兼1	
ジェンダー			1通	2									兼1	
情報と社会			1通	2									兼1	
くらしと自然			1通	2									兼1	
地理と風土			1通	2									兼1	
エコロジー			1通	2									兼1	
こころの健康			1通	2									兼1	
京都の歴史と文化			1通	2									兼1	
京のまつりと民俗信仰			1通	2									兼1	
歴史都市京都の町並			1通	2									兼1	
総合1			1通	1									兼1	
総合2		1通	1									兼1		
スポーツ		スポーツ科学	1通	2									兼1	
生涯スポーツ		1通	2									兼1		
外国語		英語Ⅰ	1通	2									兼2	
		英語Ⅱ	2通	2									兼2	
		基礎中国語	1通	2									兼1	
		中国語	2通	2									兼1	
		基礎朝鮮語	1通	2									兼1	
	朝鮮語	2通	2									兼1		
小計(39科目)		—	4	88	0		0	0	0	0		兼29		
コース基礎教育科目	基礎ゼミナール	1通	2			1								
	小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0				
基礎科目	教育原論	1通	2			1								
	教育原論2	1通	2			1								
	生涯学習概論1	1通	2									兼1		
	生涯学習概論2	1通	2									兼1		
	臨床教育学1	2通	2		1									
	臨床教育学2	2通	2		1									
	教育心理学	2通	2			1								
	教育心理学2	2通	2			1								
	教育社会学	2通	2		1									
	教育社会学2	2通	2		1									
	教師・保育者論	2通	2		1									
	幼児教育・保育課程論	2通	2		1									
	幼児理解及び保育相談	2通	2			1								
	保育原理	2通	2		1									
		小計(14科目)	—	8	20	0	3	1	0	0	0		兼1	
	専攻科目	必修科目	幼児教育学講義1	3通	1		1							
			幼児教育学講義2	3通	1				1					
幼児教育学講義3			3通	1		1								
幼児教育学講義4			3通	1				1						
幼児教育学演習1			3通	2		1								
幼児教育学演習2			3通	2		1								
選択科目		幼児教育学特殊講義1	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義2	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義3	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義4	2通	1				1						
		幼児教育学特殊講義5	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義6	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義7	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義8	2通	1					1					
		保育内容の理論と方法「健康」	2通	2						1				
		保育内容の理論と方法「環境」	2通	2									兼1	
		保育内容の理論と方法「音楽表現」	2通	2						1				
		保育内容の理論と方法「造形表現」	2通	2		1								
卒業論文指導	4通	2		7	1	2								
卒業論文	4通	6		7	1	2								
幼児教育学演習3	4通	2					1							
幼児教育学演習4	4通	2		1										
小計(22科目)		—	8	28	0	7	1	2	0	0		兼1		

【令和4年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数				専任教員等の配置					業 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 育	准 教 授	講 師	助 教	手 続			
基礎教育科目		自立学習入門	1通	2									兼1	
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0		兼1	
テキスト	総合	哲学入門	1通	4									兼1	
		文学入門	1通	4									兼1	
		社会学入門	1通	4									兼1	
		社会福祉学入門	1通	4									兼1	
		政治学入門	1通	4									兼1	
		経済学入門	1通	4									兼1	
		教育学入門	1通	4									兼1	
		心理学入門	1通	4									兼1	
		日本国憲法	1通	2									兼1	
		情報処理入門	1通	2									兼1	
		スポーツ論入門	1通	2									兼1	
		外国語	英語コミュニケーション	1通	2									兼1
	共通教育科目	総合	法然の生涯と思想	1通	2									兼1
			ブッダの教え	1通	2									兼1
			文学と人生	1通	2									兼1
			生涯学習	1通	2									兼1
			現代社会と法律	1通	2									兼1
			くらしとマスコミ	1通	2									兼1
			東アジアの歴史と文化	1通	2									兼1
世界の教育			1通	2									兼1	
ジェンダー			1通	2									兼1	
情報と社会			1通	2									兼1	
くらしと自然			1通	2									兼1	
地理と風土			1通	2									兼1	
エコロジー		1通	2									兼1		
こころの健康		1通	2									兼1		
京都の歴史と文化		1通	2									兼1		
京のまつりと民俗信仰(未開講)		1通	2									兼1		
歴史都市京都の町並		1通	2									兼1		
総合1	1通	1									兼1			
総合2	1通	1									兼1			
スポーツ	スポーツ科学	1通	2									兼1		
生涯スポーツ	1通	2										兼1		
外国語	英語Ⅰ	1通	2										兼2	
	英語Ⅱ	2通	2										兼2	
	基礎中国語	1通	2										兼1	
	中国語	2通	2										兼1	
	基礎朝鮮語	1通	2										兼1	
	朝鮮語	2通	2										兼1	
	小計(39科目)	—	4	88	0		0	0	0	0	0		兼37	
コース基礎教育科目	基礎ゼミナール	1通	2			1								
小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0					
基礎科目	教育原論	1通	2			1								
	教育原論2	1通	2			1								
	生涯学習概論1	1通	2										兼1	
	生涯学習概論2	1通	2										兼1	
	臨床教育学1	2通	2		1									
	臨床教育学2	2通	2		1									
	教育心理学	2通	2			1								
	教育心理学2	2通	2			1								
	教育社会学	2通	2			1								
	教育社会学2	2通	2			1								
	教師・保育者論	2通	2			1								
	幼児教育・保育課程論	2通	2			1								
	幼児理解及び保育相談	2通	2			1	1							
	保育原理	2通	2		1									
	小計(14科目)	—	22	6	0	4	1	0	0	0	0		兼1	
必修科目	幼児教育学講義1	3通	1			1								
	幼児教育学講義2	3通	1				1							
	幼児教育学講義3	3通	1			1								
	幼児教育学講義4	3通	1				1							
	幼児教育学演習1	3通	2			1								
	幼児教育学演習2	3通	2			1								
	保育内卒の理論と方法「健康」	2通	2			1								
	保育内卒の理論と方法「環境」	2通	2										兼1	
	保育内卒の理論と方法「音楽表現」	2通	2				1							
	保育内卒の理論と方法「造形表現」	2通	2										兼1	
	幼児教育学特殊講義1	2通		1		1								
	幼児教育学特殊講義2	2通		1		1								
	幼児教育学特殊講義3	2通		1		1								
	幼児教育学特殊講義4	2通		1		1								
	幼児教育学特殊講義5	2通		1		1								
幼児教育学特殊講義6	2通		1		1									
幼児教育学特殊講義7	2通		1		1									
幼児教育学特殊講義8	2通		1		1									
選択科目														
	卒業論文指導	4通		2		8	2							
	卒業論文	4通		6		8	2							
小計(22科目)	幼児教育学演習3	4通		2		1								
	幼児教育学演習4	4通		2		0								
	小計(22科目)	—	16	20	0	8	2	0	0	0	0		兼2	

[illegible]

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 教員免許状課程の課程認定申請における指摘事項への対応により、一部の選択科目を必修科目に変更。
- ・ 教員免許状課程の課程認定申請における指摘事項への対応により、「幼児理解及び保育相談」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・ 教員の昇任により、「幼児教育学講義2」「幼児教育学講義4」「保育内容の理論と方法(音楽表現)」「幼児教育学演習3」「幼児と表現(音楽)」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 教員の就任辞退により、「保育内容の理論と方法(健康)」「幼児教育学特殊講義4」「幼児教育学特殊講義8」「幼児と健康」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・ 教員の就任辞退により、「保育内容の理論と方法(身体表現)」「幼児と表現(身体)」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教員の就任辞退により、「保育内容の理論と方法(造形表現)」「幼児と表現(造形)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教員の就任辞退および昇任により、「卒業論文指導」「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授7、准教授1、講師2」から「教授8、准教授2」に変更。
- ・ 教職課程認定基準の改正に伴い、複数学科間で科目の共通開設を行って教育実習に係る科目を整理したことにより、授業科目の名称を「教育実習(幼)1」から「教育実習(幼・小)1」に、「教育実習(幼)2」から「教育実習(幼・小)2」に、「教育実習指導(幼)」から「教育実習指導(幼・小)」にそれぞれ変更。
- ・ 教職課程認定基準の改正に伴う複数学科間で科目の共通開設を行って教育実習に係る科目を整理したことにより、「教育実習(幼・小)1」の単位数を「4」から「2」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	139 科目	0 科目	153 科目	27 科目 [13]	125 科目 [△14]	0 科目 []	152 科目 [△1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	京のまつりと民俗信仰	2	1通	一般	選択	理由：メディア履修の映像コンテンツ再作成のため、代替措置：無し

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教育実習（幼）3	2	3・4通	専門	選択	理由：教育実習科目の整理のため、代替措置：無し
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目について、同系列の他科目を履修することにより卒業に向けた学修を進めることは可能であるため、学生の履修への影響はない。

廃止科目について、教育職員免許状の取得を目指す学生に対しては、今般の廃止科目以外の教育実習科目2科目を履修することによって取得要件を充足するカリキュラムとなっているため、履修への影響はない。

以上2点の学生への周知については、刊行物および履修ガイダンスにおいて行うこととする。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{153} = \boxed{1.3} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	62,436.77 m ²	0 m ²	0 m ²	62,436.77 m ²			
	運動場用地	195,870.47 m ²	0 m ²	0 m ²	195,870.47 m ²			
	小 計	258,307.24 m ²	0 m ²	0 m ²	258,307.24 m ²			
	そ の 他	4,904.70 m ²	0 m ²	0 m ²	4,904.70 m ²			
	合 計	263,211.94 m ²	0 m ²	0 m ²	263,211.94 m ²			
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		88,735.32 m ² (88,735.32 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	88,735.32 m ² (88,735.32 m ²)			
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27 室	75 室	94 室	9 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		教育学部 幼児教育学科			10 室			
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書充実のため(4)
		教育学部 幼児教育学科	9,078 [1,265] 7,346 [-947] 8,502 [1,241] (6,770 [-923])	116 [0] (116 [0])	0 [0] (0 [0])	5,500 (5,500)	90 (90)	
	計	9,078 [1,265] 7,346 [-947] 8,502 [1,241] (6,770 [-923])	116 [0] (116 [0])	0 [0] (0 [0])	5,500 (5,500)	90 (90)	0 (0)	
(6)図書館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		用途変更に伴う座席数 減(4)
		10,910.54 m ²		1,036 1,037		1,050,440		
(7)体育館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		2,632.13 m ²		雨天練習場2カ所・テニスコート15面・野球場1面 陸上競技場(サッカー場)1面・ラグビー場1面				
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	450千円	450千円	図書購入費	100,000千円	100,000千円	100,000千円
		共 同 研 究 費 等	9,500千円	9,500千円	設備購入費	60,000千円	60,000千円	60,000千円
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,320千円	1,160千円	1,160千円	1,160千円	一 千円	一 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金収入、手数料収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	佛 教 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
通学課程（全日制）	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
仏教学部											
仏教学科	4	60	3年次5	250	学士(文学)	0.97	1.06	－	平成22	京都市北区紫野北花ノ坊町96番地	令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）
文学部											
日本文学科	4	120	－	480	学士(文学)	1.06	1.09	－	平成22	〃	
中国学科	4	50	－	200	学士(文学)	1.06	0.78	－	昭和61	〃	
英米学科	4	70	3年次5	290	学士(文学)	1.01	1.05	－	昭和50	〃	令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）
歴史学部											
歴史学科	4	110	3年次5	450	学士(文学)	1.07	1.18	－	平成22	〃	令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）
歴史文化学科	4	70	－	280	学士(文学)	1.07	1.07	－	平成22	〃	
教育学部											
教育学科	4	130	3年次10	540	学士(教育学)	1.05	1.00	－	平成元	〃	令和6年度より3年次編入学定員減（△10人）
幼児教育学科	4	80	－	80	学士(教育学)	1.26	1.26	令和4	令和4	〃	
臨床心理学科	4	80	3年次5	270	学士(教育学)	1.08	1.13	令和4	平成12	〃	令和4年度入学定員増（20人） 令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）
社会学部											
現代社会学科	4	200	－	800	学士(社会学)	1.04	1.02	－	平成16	〃	
公共政策学科	4	120	－	480	学士(社会学)	1.07	1.06	－	平成16	〃	
社会福祉学部											
社会福祉学科	4	220	3年次15	1,060	学士(社会福祉学)	1.02	1.01	令和4	平成16	〃	令和4年度入学定員減（△50人） 令和6年度より3年次編入学定員減（△15人）
保健医療技術学部											
理学療法学科	4	40	－	160	学士(保健学)	1.04	1.05	－	平成18	京都市中京区西ノ京東柵尾町7番地	
作業療法学科	4	40	－	160	学士(保健学)	1.06	1.05	－	平成18	〃	
看護学科	4	65	－	260	学士(保健学)	1.02	1.00	－	平成24	〃	
通学課程全体	－	1,455	45	5,760	－	－	－	－	－	－	
通信教育課程											
仏教学部											
仏教学科	4	100	－	1,000	学士(文学)	0.09	0.23	令和4	平成22	京都市北区紫野北花ノ坊町96番地	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学
文学部											
日本文学科	4	100	－	1,000	学士(文学)	0.15	0.42	令和4	平成22	〃	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学
中国学科	4	50	－	500	学士(文学)	0.06	0.18	令和4	平成3	〃	令和4年度入学定員減（△100人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学
英米学科	4	100	－	1,000	学士(文学)	0.15	0.34	令和4	昭和56	〃	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学

歴史学部											
歴史学科	4	100	-	550	学士 (文学)	0.22	0.34	令和4	平成22	〃	令和4年度入学定員減 (△50人) 3年次編入学定員は令 和6年度より入学
歴史文化学科	4	100	-	1,000	学士 (文学)	0.10	0.25	令和4	平成22	〃	令和4年度入学定員減 (△200人) 3年次編入学定員は令 和6年度より入学
教育学部											
教育学科	4	400	-	3,400	学士 (教育学)	0.09	0.18	令和4	平成8	〃	令和4年度入学定員減 (△600人) 3年次編入学定員は令 和6年度より入学
幼児教育学科	4	50	-	50	学士 (教育学)	0.22	0.22	令和4	令和4	〃	2年次編入学定員は令 和5年度より、3年次編 入学定員は令和6年度 より入学
社会学部											
現代社会学科	4	300	-	1,800	学士 (社会学)	0.04	0.08	令和4	平成16	〃	令和4年度入学定員減 (△200人) 3年次編入学定員は令 和6年度より入学
公共政策学科	4	100	-	1,600	学士 (社会学)	0.02	0.06	令和4	平成16	〃	令和4年度入学定員減 (△400人) 3年次編入学定員は令 和6年度より入学
社会福祉学部											
社会福祉学科	4	200	-	3,800	学士 (社会福祉学)	0.09	0.29	令和4	平成16	〃	令和4年度入学定員減 (△1,000人) 3年次編入学定員は令 和6年度より入学
通信教育課程全体	-	1,600	-	15,700	-	-	-	-	-	-	

大 学 の 名 称	佛 教 大 学 大 学 院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科筆数	1	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
通学課程（全日制）	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学研究科											
仏教学専攻（M）	2	10	-	20	修士 (文学)	0.85	0.40	-	平成27	京都市北区紫野 北花ノ坊町96番地	
文学専攻（M）	2	10	-	20	修士 (文学)	0.25	0.30	-	平成27	〃	
歴史学専攻（M）	2	10	-	20	修士 (文学)	0.30	0.30	-	平成27	〃	
仏教学専攻（D）	3	3	-	9	博士 (文学)	0.33	0.00	-	平成27	〃	
文学専攻（D）	3	3	-	9	博士 (文学)	0.00	0.00	-	平成27	〃	
歴史学専攻（D）	3	3	-	9	博士 (文学)	0.55	0.00	-	平成27	〃	
教育学研究科											
生涯教育専攻（M）	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.10	0.20	-	平成5	〃	
臨床心理学専攻（M）	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.00	1.00	-	平成14	〃	
生涯教育専攻（D）	3	3	-	9	博士 (教育学)	0.77	1.00	-	平成13	〃	
臨床心理学専攻（D）	3	3	-	9	博士 (教育学)	0.11	0.00	-	平成17	〃	
社会学研究科											
社会学専攻（M）	2	5	-	10	修士 (社会学)	0.50	0.40	-	昭和48	〃	
社会学専攻（D）	3	3	-	9	博士 (社会学)	0.88	1.33	-	平成18	〃	
社会学研究科											
社会福祉学専攻（M）	2	5	-	10	修士 (社会福祉学)	0.30	0.40	-	平成18	〃	
社会福祉学専攻（D）	3	3	-	9	博士 (社会福祉学)	0.99	1.00	-	平成18	〃	
通学課程全体	-	81	-	183	-	-	-	-	-	-	

通信教育課程											
文学研究科											
仏教学専攻 (M)	2	15	-	30	修士 (文学)	0.23	0.40	-	平成27	京都市北区紫野 北花ノ坊町96番地	
文学専攻 (M)	2	15	-	30	修士 (文学)	0.30	0.20	-	平成27	〃	
歴史学専攻 (M)	2	15	-	30	修士 (文学)	0.33	0.46	-	平成27	〃	
仏教学専攻 (D)	3	3	-	9	博士 (文学)	0.44	1.00	-	平成27	〃	
歴史学専攻 (D)	3	3	-	9	博士 (文学)	0.77	0.66	-	平成27	〃	
教育学研究科											
生涯教育専攻 (M)	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.45	1.30	-	平成11	〃	
臨床心理学専攻 (M)	3	6	-	18	修士 (教育学)	1.00	1.00	-	平成15	〃	
社会学研究科											
社会学専攻 (M)	2	10	-	20	修士 (社会学)	0.80	0.90	-	平成13	〃	
社会学研究科											
社会福祉学専攻 (M)	2	10	-	20	修士 (社会福祉学)	0.45	0.40	-	平成18	〃	
通信教育課程全体	-	87	-	186	-	-	-	-	-	-	

大学 の 名 称	京 都 華 頂 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
現代家政学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
現代家政学科	4	80	-	320	学士 (家政学)	0.77	0.66		平成23	京都市東山区 林下町3丁目456	
食物栄養学科	4	60	-	240	学士 (家政学)	0.82	0.46		平成28	〃	
大学全体	-	140	-	560	-	-	-	-	-	-	

大学 の 名 称	華 頂 短 期 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
幼児教育学科	2	180	-	360	短期大学士 (幼児教育 学)	0.77	0.80		昭和28	京都市東山区 林下町3丁目456	
総合文化学科	2	80	-	160	短期大学士 (文化学)	0.36	0.31		令和元	〃	
大学全体	-	260	-	520	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 幼児教育学科（通信教育課程）>

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 和順 (56) <令和4年4月> 博士（学校教育学）
		基礎ゼミナール 教師・保育者論 保育原理 幼児教育学演習1 幼児教育学特殊講義1 幼児教育学特殊講義5 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	大塚 良一 (66) <令和4年4月> 修士（社会福祉学）
		社会福祉論 社会的養護1 社会的養護2 保育実習1B 保育実習3 保育実習指導3 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	柏 まり (48) <令和4年4月> 博士（保健福祉学）
		保育の内容及び方法 乳児保育1 乳児保育2 子育て支援 保育実習1A 保育実習指導1 保育実習2 保育実習指導2 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	小林 みどり (56) <令和4年4月> 修士（学校教育学）
		保育内容の理論と方法「人間関係」 保育内容の理論と方法「言葉」 幼児と人間関係 幼児と言葉 教職実践演習（教諭） 保育・教職実践演習（教諭） 保育実践演習 教育実習（幼）1 教育実習（幼）2 教育実習（幼）3 教育実習指導（幼） 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	矢野 智司 (67) <令和4年4月> 博士（教育学）
		教育原論 教育原論2 臨床教育学1 臨床教育学2 幼児教育・保育課程論 幼児教育学演習2 幼児教育学特殊講義2 幼児教育学特殊講義6 学校臨床教育学1 学校臨床教育学2 卒業論文指導 卒業論文

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 和順 (56) <令和4年4月> 博士（学校教育学）
		基礎ゼミナール 教師・保育者論 保育原理 幼児教育学演習1 幼児教育学特殊講義1 幼児教育学特殊講義5 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	青木 好子 (57) <令和4年4月> 博士（教育学）
		幼児教育学特殊講義4 幼児教育学特殊講義8 保育内容の理論と方法「健康」 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と健康 幼児と表現（身体） 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	大塚 良一 (66) <令和4年4月> 修士（社会福祉学）
		社会福祉論 社会的養護1 社会的養護2 保育実習1B 保育実習3 保育実習指導3 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	柏 まり (48) <令和4年4月> 博士（保健福祉学）
		保育の内容及び方法 乳児保育1 乳児保育2 子育て支援 保育実習1A 保育実習指導1 保育実習2 保育実習指導2 卒業論文指導 卒業論文 幼児理解及び保育相談
専	教授	小林 みどり (56) <令和4年4月> 修士（学校教育学）
		保育内容の理論と方法「人間関係」 保育内容の理論と方法「言葉」 幼児と人間関係 幼児と言葉 教職実践演習（教諭） 保育・教職実践演習（教諭） 保育実践演習 教育実習（幼・小）1 教育実習（幼・小）2 教育実習指導（幼・小） 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	矢野 智司 (67) <令和4年4月> 博士（教育学）
		教育原論 教育原論2 臨床教育学1 臨床教育学2 幼児教育・保育課程論 幼児教育学演習2 幼児教育学特殊講義2 幼児教育学特殊講義6 学校臨床教育学1 学校臨床教育学2 卒業論文指導 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	山内 乾史 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	専	教授	山内 乾史 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		教育社会学 教育社会学2 幼児教育学特殊講義3 幼児教育学特殊講義7 比較教育学 比較教育学2 卒業論文指導 卒業論文			教育社会学 教育社会学2 幼児教育学特殊講義3 幼児教育学特殊講義7 比較教育学 比較教育学2 卒業論文指導 卒業論文
兼任	教授	山内 乾史 (59) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	山内 乾史 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		教育社会学 教育社会学2 幼児教育学特殊講義3 幼児教育学特殊講義7			教育社会学 教育社会学2 幼児教育学特殊講義3 幼児教育学特殊講義7
専	准教授	津田 由加子 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）			
		保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）			
専	教授	高橋 敏之 (65) ＜令和6年4月＞ 博士（芸術学）	専	教授	高橋 敏之 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（芸術学）
		幼児教育学講義1 幼児教育学講義3 保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児教育学演習4 幼児と表現（造形） 卒業論文指導 卒業論文			幼児教育学講義1 幼児教育学講義3 保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児教育学演習4 幼児と表現（造形） 卒業論文指導 卒業論文
			兼任	講師	高橋 敏之 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（芸術学）
					保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）
			専	准教授	臼井 奈緒 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
					幼児教育学講義2 幼児教育学講義4 保育内容の理論と方法「音楽表現」 幼児教育学演習3 幼児と表現（音楽） 卒業論文指導 卒業論文
専	准教授	山崎 玲奈 (50) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	専	准教授	山崎 玲奈 (48) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 臨床教育学1 臨床教育学2 児童心理学1 児童心理学2 発達心理学1 発達心理学2 学校臨床心理学1 学校臨床心理学2 子ども家庭支援の心理学 卒業論文指導 卒業論文			教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 臨床教育学1 臨床教育学2 児童心理学1 児童心理学2 発達心理学1 発達心理学2 学校臨床心理学1 学校臨床心理学2 子ども家庭支援の心理学 卒業論文指導 卒業論文
兼任	講師	山崎 玲奈 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	山崎 玲奈 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 子ども家庭支援の心理学			教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 子ども家庭支援の心理学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	臼井 奈緒 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）			
		幼児教育学講読2 幼児教育学講読4 保育内容の理論と方法「音楽表現」 幼児教育学演習3 幼児と表現（音楽） 卒業論文指導 卒業論文			
専	講師	藤澤 薫里 (29) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）			
		幼児教育学特殊講義4 幼児教育学特殊講義8 保育内容の理論と方法「健康」 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と健康 幼児と表現（身体） 卒業論文指導 卒業論文			
兼任	教授	安藤 潤 (54) ＜令和4年4月＞ 経済学修士			
		経済学入門			
兼任	教授	李 昇燁 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）			
		東アジアの歴史と文化			
			兼任 教授		上田 道明 (58) ＜令和4年4月＞ 法学修士
					政治学入門
兼任	教授	大林 照明 (66) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）	兼任	教授	大林 照明 (65) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）
		教育行政学 教育行政学2			教育行政学 教育行政学2
兼任	教授	後藤 直 (64) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）	兼任	教授	後藤 直 (64) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）
		人権（同和）教育			人権（同和）教育
兼任	教授	近藤 敏夫 (64) ＜令和4年4月＞ 文学修士			
		社会学入門			
			兼任 教授		束崎 栄司 (67) ＜令和4年4月＞ 社会学修士
					社会福祉学入門 総合1 総合2
兼任	教授	相馬 伸一 (59) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	相馬 伸一 (59) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		世界の教育 教育史 教育史2 教育哲学 教育哲学2 国際理解教育論			教育史 教育史2 教育哲学 教育哲学2 国際理解教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	曾和 義宏 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）			
		ブッダの教え			
兼任	教授	原 清治 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	原 清治 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		教育学入門 開発教育論			教育学入門 開発教育論
			兼任	教授	藤井 遼 (63) ＜令和4年4月＞ 経済学修士
					経済学入門
			兼任	教授	三谷 憲正 (69) ＜令和4年4月＞ 文学修士
					文学入門
			兼任	教授	持留 浩二 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
					英語コミュニケーション
兼任	教授	八木 透 (66) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	八木 透 (66) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		京都の歴史と文化 京のまつりと民俗信仰 歴史都市京都の町並			京のまつりと民俗信仰
兼任	教授	山口 孝治 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）	兼任	教授	山口 孝治 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		スポーツ論入門 スポーツ科学 生涯スポーツ			スポーツ論入門 スポーツ科学 生涯スポーツ 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と表現（身体）
			兼任	教授	渡邊 秀一 (68) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
					歴史都市京都の町並
兼任	准教授	赤沢 真世 (45) ＜令和6年4月＞ 教育学修士	兼任	准教授	赤沢 真世 (43) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		教育評価論			教育評価論
兼任	准教授	新井 康友 (48) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）			
		社会福祉学入門			
兼任	准教授	市川 定敬 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）			
		法然の生涯と思想			
兼任	准教授	井上 洋平 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）	兼任	准教授	井上 洋平 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		障害児保育			障害児保育

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	鬼頭 泰子 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	准教授	鬼頭 泰子 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（言語文化学）
		子どもの保健			子どもの保健
			兼任	准教授	齋藤 肇光 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
					法然の生涯と思想
兼任	准教授	長瀬 正子 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）	兼任	准教授	長瀬 正子 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		総合1 総合2 専門総合1 専門総合2 専門総合3 専門総合4 子ども家庭支援論 子ども家庭福祉			専門総合1 専門総合2 専門総合3 専門総合4 子ども家庭支援論 子ども家庭福祉
兼任	准教授	橋本 憲尚 (66) ＜令和6年4月＞ 学術修士	兼任	准教授	橋本 憲尚 (64) ＜令和6年4月＞ 学術修士
		宗教教育論1 宗教教育論2			宗教教育論1 宗教教育論2
兼任	准教授	長谷川 由香 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）	兼任	准教授	長谷川 由香 (60) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		子どもの健康と安全			子どもの健康と安全
兼任	准教授	浜畑 圭吾 (43) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）			
		文学入門 文学と人生			
兼任	准教授	平田 豊誠 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）	兼任	准教授	平田 豊誠 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		保育内容の理論と方法「環境」 環境教育論 幼児と環境			保育内容の理論と方法「環境」 環境教育論 幼児と環境
			兼任	准教授	三重野 雄太郎 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
					現代社会と法律
兼任	准教授	持留 浩二 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）			
		英語コミュニケーション			
兼任	准教授	渡邊 照美 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）	兼任	准教授	渡邊 照美 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		特別な教育的ニーズの理解とその支援			特別な教育的ニーズの理解とその支援
兼任	講師	ウィリアム フェル (61) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	ウィリアム フェル (61) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ			英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	曾 香 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	曾 香 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		中国語			中国語
兼任	講師	三重野 雄太郎 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）			
		現代社会と法律			
兼任	講師	宮村 教平 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	宮村 教平 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法 教育法規1 教育法規2			日本国憲法 教育法規1 教育法規2
兼任	講師	アインツリヤ スカ`ン`イ (48) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	アインツリヤ スカ`ン`イ (48) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ			英語Ⅱ
			兼任	講師	芦田 鳳馬 (33) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
					保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）
			専	講師	芦田 鳳馬 (33) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
					保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）
			兼任	講師	有田 亘 (54) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）
					情報と社会
			兼任	講師	植田 愛美 (32) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
					心理学入門
兼任	講師	上野 潤 (59) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）（韓国）	兼任	講師	上野 潤 (59) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）（韓国）
		基礎朝鮮語			基礎朝鮮語
兼任	講師	内山 淳子 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	内山 淳子 (58) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		自立学習入門			自立学習入門
兼任	准教授	内山 淳子 (58) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	内山 淳子 (58) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		自立学習入門			自立学習入門
兼任	講師	小谷 清子 (53) ＜令和5年4月＞ 学士（生活科学）	兼任	講師	小谷 清子 (52) ＜令和5年4月＞ 学士（生活科学）
		子どもの食と栄養			子どもの食と栄養

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任 講師		榎津 祥貴 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
					こころの健康
兼任 講師	講師	金納 史佳 (33) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）			
		心理学入門 こころの健康			
			兼任 講師		木村 大輔 (42) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
					地理と風土
兼任 講師	講師	栗本 裕見 (56) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）			
		政治学入門			
			兼任 講師		小林 孝夫 (67) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
					京都の歴史と文化
兼任 講師	講師	芝田 篤紀 (30) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）			
		くらしと自然 地理と風土			
			兼任 講師		白石 哲郎 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（社会学）
					社会学入門
兼任 講師	講師	孫 潔 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）			孫 潔 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語			基礎中国語
兼任 講師	講師	孫 潔 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）			孫 潔 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語			基礎中国語
			兼任 講師		高橋 信幸 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
					くらしと自然
			兼任 講師		田中 達也 (42) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
					世界の教育
			兼任 講師		田辺 翔平 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
					英語Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任 講師		金 炳興 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（社会学）
					くらしとマスコミ
兼任 講師	講師	土屋 依子 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（都市科学）			
		エコロジー			
兼任 講師	講師	長尾 文孝 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（環境科学）	兼任 講師	講師	長尾 文孝 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（環境科学）
		情報処理入門			情報処理入門
			兼任 講師	講師	中御門 敬敏 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
					ブッダの教え
兼任 講師	講師	西本 明央 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）	兼任 講師	講師	西本 明央 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		哲学入門			哲学入門
			兼任 講師	講師	林田 匡 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
					生涯学習
			兼任 講師	講師	早瀬 和榮 (50) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
					英語 I
兼任 講師	講師	古市 文章 (67) ＜令和6年4月＞ 商学修士	兼任 講師	講師	古市 文章 (65) ＜令和6年4月＞ 商学修士
		教育情報処理演習 情報技術教育論 ICTの活用及び教育			教育情報処理演習 情報技術教育論 ICTの活用及び教育
			兼任 講師	講師	朴 銀姫 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
					文学と人生
兼任 講師	講師	本間 千景 (62) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）	兼任 講師	講師	本間 千景 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		朝鮮語			朝鮮語
兼任 講師	講師	山本 桂子 (57) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）	兼任 講師	講師	山本 桂子 (57) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）
		生涯学習 ジェンダー 生涯学習概論1 生涯学習概論2 生涯教育論1 生涯教育論2 生涯学習コーディネーター論			ジェンダー 生涯学習概論1 生涯学習概論2 生涯教育論1 生涯教育論2 生涯学習コーディネーター論
			兼任 講師	講師	湯川 宗紀 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）
					エコロジー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉見 憲二 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（国際情報通信学）
		くらしとマスコミ 情報と社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	興産 良一 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		東アジアの歴史と文化

- （注） ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、 **認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、 **それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

- ・青木好子教員：令和4年4月専任教授就任
- ・柏まり教員：担当授業科目変更
- ・小林みどり教員：担当授業科目変更
- ・津田由加子教員：就任辞退
- ・高橋敏之教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・臼井奈緒教員：令和4年4月准教授昇任
- ・藤澤薫里教員：就任辞退
- ・安藤潤教員：就任辞退
- ・李昇燁教員：就任辞退
- ・上田道明教員：令和4年4月兼任教授就任
- ・近藤敏夫教員：就任辞退
- ・末崎栄司教員：令和4年4月兼任教授就任
- ・相馬伸一教員：担当授業科目変更
- ・曾和義宏教員：就任辞退
- ・藤井透教員：令和4年4月兼任教授就任
- ・三谷憲正教員：令和4年4月兼任教授就任
- ・持留浩二教員：令和4年4月教授昇任
- ・八木透教員：担当授業科目変更
- ・山口孝治教員：担当授業科目変更
- ・渡邊秀一教員：令和4年4月兼任教授就任
- ・新井康友教員：就任辞退
- ・市川定敬教員：就任辞退
- ・齋藤蒙光教員：令和4年4月兼任准教授就任
- ・長瀬正子教員：担当授業科目変更
- ・浜畑圭吾教員：就任辞退
- ・三重野雄太郎教員：令和4年4月准教授昇任
- ・ウィリアム フィールド教員：担当授業科目変更
- ・アイシュワリヤ スガンドイ教員：担当授業科目変更
- ・芦田風馬教員：令和4年4月専任講師就任、令和6年4月専任講師就任
- ・有田亘教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・植田愛美教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・樫津祥貴教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・金納史佳教員：就任辞退
- ・木村大輔教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・栗本裕見教員：就任辞退
- ・小林孝夫教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・芝田篤紀教員：就任辞退
- ・白石哲郎教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・高橋信幸教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・田中達也教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・田辺翔平教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・全炳昊教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・土屋依子教員：就任辞退
- ・中御門敬教教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・林田匡教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・早瀬和栄教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・朴銀姫教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・山本桂子教員：担当授業科目変更
- ・湯川宗紀教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・與座良一教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・吉見憲二教員：就任辞退

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	1	2	0	10	0	6	1	1	0	8	0
(5)	(1)	(2)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
8	2	0	0	10	0	8	2	0	0	10	0
[1]	[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	津田 由加子	R4.1	必修	保育内容の理論と方法「造形表現」	①	R4.1 他大学での専任教員採用が決定し、また兼任教員としての勤務も困難であるため就任辞退（4）
				選択	幼児と表現（造形）	①	
				選択	幼児教育学特殊講義4	①	
				選択	幼児教育学特殊講義8	①	
				必修	保育内容の理論と方法「健康」	①	
				選択	保育内容の理論と方法「身体表現」	①	
				選択	幼児と健康	①	
				選択	幼児と表現（身体）	①	
				選択	卒業論文指導	①	
				選択	卒業論文	①	
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	10	科目	必修	10	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）	
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	10	科目	必修	10	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{2}{10} = \boxed{20} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし						
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の教員について、学科開設までに同数の専任教員を新たに採用することにより、学生の履修等への影響が出ないように対応した。学生への周知方法については、今般の教員変更を反映したシラバスを公開することにより行った。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 幼児教育学科（通信教育課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 教育推進機構会議（平成24年4月1日設置） ※規程は別添 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年度17回開催。教育推進機構長、学生支援機構長、各学部教育推進担当主任、学生支援部長、生涯学習部長、情報システム部長および所管長で構成。 c 委員会の審議事項等 ・教育課程の編成・運営に関する事項 ・教育開発・改善に関する事項 ・宗教教育センターに関する事項 ・国際交流センターに関する事項 ・教育推進機構の人事（実習指導講師、契約講師、専門員等）に関する事項 ・教育推進機構の事業計画および予算編成に関する事項 ・教育推進機構の自己点検・評価に関する事項 ・教育推進機構に関連する諸規程の改廃に関する事項 ・その他教育推進機構に関する必要な事項 ② 実施状況 a 実施内容 1) FD研究会の開催 2) 研修会等への参加支援 3) 基礎学力テスト 4) 卒業時アンケート 5) 卒業生統合調査 6) 学生支援部と共同で遠隔授業に関する研修会を開催 7) 初年次教育 b 実施方法 1) 令和3年度は遠隔授業の効果的な教授方法や初年次教育に関する評価等について研修会を実施。コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにて開催。 2) 専任教員を対象に学外のFD関連研修会等についての情報発信と参加支援。 3) 1年生・2年生・3年生を対象にオンラインテストを利用したアセスメントテストを実施。学生の思考力や姿勢・態度、経験を把握し、授業改善や学生指導に活用できるよう情報共有を行った。 4) 2021年3月卒業生を対象に大学のLMSシステムを利用してアンケート調査を実施。DPの達成度や学修状況、学生生活満足度などを調査し、その結果について関係部局で報告会をオンラインで実施、またその動画を学内に配信し、状況を共有した。 5) 卒業時アンケートと、その学生の1.3年時の基礎学力テストの結果を紐づけ、DPの達成度や大学の教育内容の影響を調査し、その結果について関係部局で報告会をオンラインで実施、またその動画を学内に配信し、状況を共有した。
--

6) 2020年度秋学期に学生支援部と共同で実施した「2020年度コロナ禍における学習実態調査」の結果を基に、報告会をオンラインにて開催。

7) 2021年度4月入学者に対して、大学生活へのスムーズな移行を図るため、学生同士や教員との親睦を深めるとと学科の学びを理解してもらうことを目的に、学部・学科ごとに新入生歓迎イベントを実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1) 大学全体や学部単位でFD研修会を3回開催。その他、シラバス作成に関する説明会も実施

大学全体FD

「遠隔授業の授業設計 ～4つの事例から今学期の遠隔授業を考える～」 参加者：専任教員69名、非常勤講師42名

「初年次教育科目の成績評価について」参加者：専任教員117名

「学生アンケートから見るGoogle Classroomの使い方」参加者：現在も継続して公開中のため未集計

「2022年度に向けたシラバス作成研修会」参加者：自由閲覧のため不明

学部FD

参加者：仏教学部 専任教員11名、文学部 専任教員25名、歴史学部 専任教員19名、教育学部 専任教員33名、社会学部 専任教員21名、社会福祉学部 専任教員19名、保健医療技術学部 専任教員22名

2) 専任教員を対象に学外のFD関連研修会等についての情報発信と参加支援。 参加者：1名

3) 受検者数 1年生：1,392名（受検率96.47%）、2年生：1,252名（受検率87.25%）、3年生：1,053名（受検率66.69%）

4) アンケート回答者数：1,303名、報告会参加者数：専任教員49名、専任職員24名

5) 対象学生数：442名、報告会参加者数：専任教員64名、専任職員41名

6) 学生支援機構、教育推進機構、総務部と共同で、教員職員合同研修会として開催。

〔シリーズⅠ〕コロナ禍のなかの学生生活ー学生生活・遠隔授業・学生支援ー 参加者：専任教員97名、専任職員110名

〔シリーズⅡ〕学生支援の新たな地平ー学生の声をもとにー 参加者：専任教員94名、専任職員116名

7) 学部や学科ごとの企画で、懇親会やレクリエーションなどを実施。

参加学生数：仏教学部 65名、日本文学科 131名、中国学科 29名、英米学科 約70名、歴史学部 183名、教育学部 120名、幼児教育学科 100名、臨床心理学科 76名、社会学部 約150名、社会福祉学部 約90名、理学療法学科 42名、作業療法学科 39名、看護学科 64名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1) アンケートで学生からの評価が高かった遠隔授業での教授方法について、専任教員だけでなく非常勤講師とも情報共有し、授業改善の材料とした。また、初年次教育の成績評価については、各学部・学科内で現状を把握し、改善に向けて報告書を作成した。

2) 専任教員を対象に学外のFD関連研修会等についての情報発信と参加支援。

3) 1年生・2年生・3年生を対象にオンラインテストを利用したアセスメントテストを実施。学生の思考力や学習習慣、経験を把握し、授業改善や学生指導に活用できるよう情報共有を行った。

4) 2021年3月卒業生を対象に大学のLMSシステムを利用してアンケート調査を実施。満足度などを調査し、その結果について関係部局で報告会をオンラインで実施、またその動画を学内に配信し、状況を共有した。

5) 卒業時アンケートと、その学生の1.3年時の基礎学力テストの結果を紐づけ、DPの修得度や大学の教育内容の影響を調査し、その結果について関係部局で報告会をオンラインで実施、またその動画を学内に配信し、状況を共有した。

6) 2020年度秋学期に学生支援部と共同で実施した「2020年度コロナ禍における学習実態調査」の結果を基に、報告会をオンラインにて開催。学生がどのような状況におかれているか把握し指導に活かすため、情報を共有した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

1) 春学期 実施教員数(実施率)：専任199名(100%)、非常勤304名(100%)

実施講座数(実施率)：1,333科目(99.93%) 実施時期：令和3年7月14日(水)～8月3日(火)

秋学期 実施教員数(実施率)：専任198名(100%)、非常勤276名(100%)

実施講座数(実施率)：1,267講座(99.92%) 実施時期：令和4年1月17日(月)～令和4年2月5日(土)

b 教員や学生への公開状況、方法等

全体の集計結果の分析を行い、教員の個人結果については、個々の教員に返却し、授業見直しの材料としてもらっている。全体の集計や分析は刊行物にし、学内で配付、学外にはHPを通して公開した。また、学内イントラにも公表している。その他、学生には教員への結果を学内LMSで公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部幼児教育学科（通信教育課程）は、多様化する保育ニーズに対応できる幼稚園教諭、保育士の養成を行うことを目指したものであり、幼児教育学・保育学に関わる理論知識と幼児教育・保育に関わる実践的知識を両輪とした、体系的な幼児教育・保育の機会を提供し、幼児教育・保育現場で適切に保育ができる能力を有する保育者の養成を目的とする。また在学時から各種実習に加え、幼児教育・保育現場での多様な長期の現場体験学習の場を提供し、諸問題に対して適切に理解・判断・対応する力を養うことを通して、保育の質向上に寄与できる保育実践力を有する保育者養成を目指すとともに、社会に貢献することのできる人材を育成すること等を目的としている。以上の設置の趣旨、目的のもとに学生募集を開始し、学生確保においては、募集期間が限られたこともあり入学定員を充足するに至らなかった。しかしながら、本幼児教育学科は編入学定員を設定しており、次年度保育士資格取得希望者のニーズに沿った2年次編入学により、更なる学生確保ができるものと思われる。

また、教育課程においては、1年生から「教育原論」等にて教師・保育職を目指すための基礎的理解を促し、幼児教育・保育学の学修をはじめため幅広い教養教育を重視した基礎教育を実施している。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年3月1日公表 『佛教大学自己点検・評価報告書2019』

b 公表方法

・ホームページ上に公開し、大学図書館に配架

③ 認証評価を受ける計画

・令和元（2019）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（機関別認証評価）を受審し、「大学基準」に適合していると認定を受けている。評価結果における提言等に対する改善報告書は、令和5（2023）年度に同協会に提出予定。

・次回は、令和8（2026）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（機関別認証評価）を受審する計画である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 ☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

第1条 本規程は、教育推進機構規程第5条に基き、教育推進機構会議(以下「機構会議」という。)の構成および運営について必要な事項を定める。

第2条 機構会議は、教育推進機構長、学生支援機構長、各学部教育推進担当主任、学生支援部長、生涯学習部長、情報システム部長および所管部長をもって構成する。

2 機構会議は、必要に応じて前項に掲げる構成員以外の者を出席させ、報告および説明または意見を求めることができる。

3 機構会議は、特定の事項を審議するために必要に応じて作業部会等を置くことができる。

4 機構会議は、教育推進部長の所管とする。

第3条 機構会議に、議長と副議長を置く。

2 議長は教育推進機構長が、副議長は機構会議構成員の互選によって選出する。

3 機構会議に関する事務取扱は、教育推進部教育推進課長がこれにあたり、審議事項等にかかわる資料作成および議事録等、機構会議に関する事務を処理する。

第4条 機構会議は、議長が招集し、会務を統轄する。

2 機構会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。

第5条 機構会議は、次の事項を審議し、その議案に応じて各学部教授会、各研究科教授会、部局長会または大学評議会に提出する。

(1) 教育課程の編成・運営に関する事項

ア 次年度のカリキュラム運営(開講科目・担当者案、時間割編成、免許・資格制度のカリキュラム・担当者など)に関する事項

イ 授業運営(補講および集中講義を含む)および試験に関する事項

ウ 単位互換協定に関する事項

エ キャリア教育に関する事項

オ 自校教育に関する事項

カ 授業カレンダー、学年暦に関する事項

キ その他教育課程の編成に関する事項

(2) 教育開発・改善に関する事項

ア 教育システムの企画・立案および推進に関する事項

イ 教育課程の開発に関する事項

ウ FDおよび授業改善活動(授業評価、授業改善活動の推進、研究会の企画・実施、FDに関する研修会、シラバス改定、初年次教育、キャリア教育、カリキュラムの調査研究など)に関する事項

エ 学生の学力調査に関する事項

オ 教材、メディア教材の企画・開発に関する事項

カ その他教育開発・改善に関する事項

(3) 宗教教育センターに関する事項

(4) 国際交流センターに関する事項

(5) 教育推進機構の人事(実習指導講師、契約講師、専門員等)に関する事項

(6) 教育推進機構の事業計画および予算編成に関する事項

(7) 教育推進機構の自己点検・評価に関する事項

(8) 教育推進機構に関連する諸規程の改廃に関する事項

(9) その他教育推進機構に関する必要な事項

2 機構会議は、各学部教授会、各研究科教授会、部局長会または大学評議会の求めがあれば、機構会議における審議経過を報告しなければならない。

第6条 機構会議の議決は、出席者の過半数の賛成を必要とし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

第7条 本規程の改廃は、教育推進機構会議、各学部教授会の議を経て、大学評議会の承認を得なければならない。

附 則

第1条 本規程は、平成24年4月1日から施行する。

第2条 本規程の施行に伴い、「教務委員会規程」(昭和42年4月1日施行)、「共通科目編成・運営委員会規程」(平成5年4月1日施行)、「教育開発委員会規程」(平成19年4月1日施行)、「メディア教材開発・知的財産管理委員会規程」(平成19年4月1日施行)、「キャリア委員会規程」(平成16年4月1日施行)、「国際交流センター委員会規程」(平成21年4月1日施行)、「宗教教育センター委員会規程」(平成19年4月1日施行)、「自校教育部門事業等に関する内規」(平成19年4月1日施行)、「通信教育委員会規程」(平成9年4月1日施行)は、廃止する。

第3条 本規程は、平成29年4月1日から改正施行する。

第4条 本規程は、平成30年4月1日から改正施行する。